

2010年7月1日発行

エコ・リサ通信

第71号

特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会広報



エコ・リサ総会記念講演 報告

リサイクル貧乏は間違いです

狭山市の事例



エコ・リサ理事 土淵 昭 氏

全国の自治体では、燃やすごみは焼却するのが一番コストが安く、資源としてリサイクルするのはコストが高くつくので「リサイクル貧乏になる」と言うのが定説になっています。

ところが、土淵が狭山市の燃やすごみについて試算した結果、焼却するより資源としてリサイクルする方がはるかにコストが安い、と言う結果になりました。しかし、資源リサイクルするには幾つかの課題がありますので、私案を述べます。(詳しい内容はP2・3に掲載)



資源循環推進課コーナー

埼玉県では次世代によりよい環境を引き継ぐことを目指し、循環型社会の構築と地球温暖化防止に向け、民間事業者や市民団体の方々と協働してレジ袋削減、マイバッグ持参運動に取り組んでいます。

協定(*)参加事業者のイオンリテール株式会社は、できるだけ多くの方々に環境について考えていただくきっかけとして、環境フェア2010を開催。県や地元自治体も後援者として、各種パネル掲示を行いました。

(*協定：平成20年9月22日締結「埼玉県におけるマイバッグ持参運動とレジ袋削減運動の取組に関する協定」)

- (1) 実施場所：イオンショッピングセンター上里
- (2) 期間：平成22年4月24日(土)～5月5日(水)
- (3) 来場者数：18万人(イオン発表)
- (4) 後援自治体：埼玉県、本庄市、上里町、神川町、美里町
- (5) フェアの内容 環境展示会
 - ・環境に関するパネル約500枚
 - ・リサイクル物品の展示



(パネルの展示状況)

- 3R推進キャンペーン (廃蛍光管から作ったガラス細工品)
 - ・上里町・イオン・ベルクによる
マイバッグキャンペーン(フェアのお知らせ)
 - ・本庄市による指定ごみ袋、
給食残渣から作った肥料の配付
- フリーマーケット(5月2日午前10時～午後3時)

県では、今後も様々な機会を活かして、レジ袋削減への取組を積極的に支援していきます。

1. 平成 20 年度の狭山市のごみの排出量と燃やすごみの組成

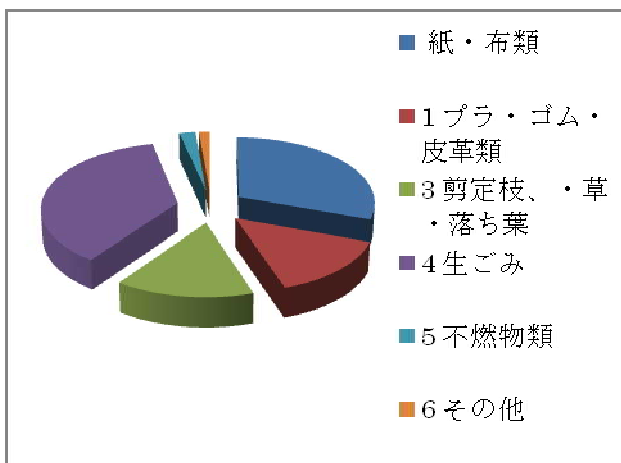
狭山市の行政資料「清掃行政の概要」平成 21 年度版(平成 20 年度実績)によるごみの排出量は、全体で 49,537 トン、その内、燃やすごみは 35,645 トンで、71.9%になりますので、燃やすごみをどう処理するかが最も重要になります。

燃やすごみの組成分析の方法は旧厚生省の指針で決まっています、今でも変わっていません。

その詳細については紙面の都合で省略しますが、平成 20 年度の狭山市の燃やすごみには水分が、44.1%入っています。水分は主として生ごみから来るものですが、そのほかに剪定枝、草、ぬれ落ち葉などから来ます。燃やすごみは 6 成分に分類することになっていて、水分をどう配分するかはエコ・リサイクル連絡会ではずいぶん以前から発表していますから省略し、結果だけを示します。

表-1 水分を配分した燃やすごみの組成割合

No	名称	割合 w%	重量 t
	紙・布類	30.6	10,904
1	プラ・ゴム・皮革類	14.3	5,097
3	剪定枝、草・落ち葉	15	5,347
4	生ごみ	36.7	13,082
5	不燃物類	2.1	749
6	その他	1.4	499
	合計	100.1	35,678



2. 費用計算

燃やすごみを焼却した時の費用を表-2 に、資源リサイクルした時の費用を表-3 に記します。

表-2 燃やすごみを焼却した場合の費用(年額)

名称	重量 t	処理単価 万円/t	費用/年	備考
燃やすごみ	35,645	3.8	13 億 5451 万円	(注 1)
焼却施設の減価償却費			約 5 億円	(注 2)
焼却灰	4,685	X	4,685X	(注 3)

合計 18 億 5451 万円 + 4,685X 万円

(注 1) 平成 19 年度のごみ処理単価は 36,581 円/t、20 年度は 39,436 円/t で平均約 3 万 8 千円。

但し、ごみ処理単価は粗大ゴミ処理や燃やさないごみ処理の費用も入っているので、これが直ちに燃やすごみの単価になるかどうかは分からないが大きく違わないと思う。

(注 2) 現在稼働している焼却炉の建設費は約 125 億円であるが、最近いく分値下がりしているとの事なので、一応 100 億円とし、法定の減価償却年限が 20 年なので、単純に 20 で割って年額 5 億円とした。

(注 3) 焼却灰の処理単価は判らなかったので X 万円とした。

表 - 3 燃やすごみを資源リサイクルした場合の費用(年額)

名称	重量 t	処理単価 万円/t	費用/年	備考
紙・布類	10,907	0	0	(注 4)
プラ・ゴム・皮革類	5,097	6.5	3 億 3131 万円	(注 5)
剪定枝・草・落ち葉	5,347	3.3	1 億 7645 万円	(注 6)
生ごみ	13,082	5.4	7 億 0643 万円	(注 7)
不燃物類	749	Y	749Y	(注 8)
その他	499	Y	499Y	(注 8)

合計 12 億 1419 万円 + (749 + 499)Y 万円

(注 4)紙・布類はごみステーションに出して、回収業者に回収させればいくらかの入金があるが、細かい数字なので、一応 0 万円として計算した。

(注 5)プラスチックは市で回収・梱包して資源リサイクル協会へ持ち込む費用で計算した。

(注 6)平成 20 年度実績の剪定枝等の資源化単価を用いた。

(注 7)生ごみリサイクル業者へ市が委託している単価を用いた。

(注 8)不燃物とその他は資源としてのリサイクルではなくて、埋め立て処分になると思う。その処分費は判らないので Y 万円とした。

以上燃やすごみは焼却するより資源としてリサイクルするほうがはるかに安くつく。

3. 燃やすごみを資源リサイクルする場合の課題

燃やすごみを資源としてリサイクルする場合に幾つかの課題がある。その要点を幾つか述べる。

市の予算は単年度主義で、一般企業では当たり前になっている施設などの財産は減価償却の考え方などの長期展望を取り入れる必要がある。その為には市長の決断が必要。

燃やすごみの収集は廃止し、すべて資源として(紙・布類、プラ・ゴム・皮革類、剪定枝・草・落ち葉生ごみ)収集する必要があるが、市民は今までのやり方に慣れているので、変更の理解を求める必要がある。その為には全市一度には出来ないで、モデル地区を作って広げるのがよさそう。

燃やすごみの内、紙おむつなどの衛生紙があり、燃やさざるを得ない。製紙業界の話では衛生紙は紙全体の約 7%とのことで、その大部分はトイレトペーパーで、ごみとして出て来ない。紙おむつなど、燃やさざるを得ないものはせいぜい 1%程度と考えられる。

剪定枝はチップ化し、草・落ち葉とともに堆積して堆肥に出来るが、粗大ごみの中にある家具を破碎して出てくる木部は塗料やベニヤの接着剤などがあって有害なので、堆肥として使えない。燃料とするか、紙の原料として使えないかを模索する必要がある。

生ごみリサイクルは、現在は希望者のみであるが、すべて堆肥化は可能である。

容器包装リサイクル法に基づいた廃プラは、リサイクルの用途があるが、ゴム・皮革類などは鉄鋼の還元剤などのケミカルリサイクルに使えないかどうか、調査する必要がある。

いずれにしても現在の燃やすごみをすべて資源としてリサイクルできるわけではなく、5%程度は燃やさざるを得ないと思われるが、県内に数か所の焼却施設設置で足りるようになる。なお、焼却灰が激減するので、その分最終処分場設置による環境破壊が少なくなる。



第6期通常社員総会 - 開催報告 -

- 1 日時 平成22年5月22日(土)
午後1時30分から午後3時00分
- 2 場所 さいたま市大宮区桜木町1-7-5
大宮ソニックシティビル704

来賓：埼玉県環境部資源循環推進課
永島 祐久 副課

- 3 社員総数 96名
- 4 出席社員数 74名 (内訳 本人出席 15名 書面表決者 59名)
- 5 議題
 - 第1号議案 平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)事業報告承認の件
 - 第2号議案 平成21年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件
 - 第3号議案 平成22年度役員選任の件
 - 第4号議案 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業計画承認の件
 - 第5号議案 平成22年度収支予算承認の件

6 議事の経過及び結果

- (1) 第1号議案 平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)事業報告承認の件

議長は上記議案を上程し、平成21年度の事業の内容につき概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

- (2) 第2号議案 平成21年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

議長は上記議案を上程し、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の内容につき概要を理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を承認可決した。

- (3) 第3号議案 平成22年度役員選任の件

議長は上記議案を上程し、理事及び監事の全員が平成22年5月31日をもって任期が満了するので、理事1名より辞任届を受理した説明の後、改めて残りの理事10名及び監事2名の選任を継続したい旨、又、新任理事1名を指名したい旨を述べ、原案の下記理事11名及び監事2名の候補者につき議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決し、選任された理事及び監事は、その場で、就任を承諾した。

記

理事	石川 恵 輪(再任)	理事	大前 万寿美(再任)
理事	齊藤 勉(再任)	理事	神山 憲 秀(再任)
理事	清水 守(再任)	理事	高木 康 夫(再任)
理事	高橋 茂 仁(再任)	理事	土淵 昭(再任)
理事	轟 涼(新任)	理事	原田 史(再任)
理事	宮田 尚 美(再任)		
監事	島田 憲 一(再任)	監事	平田 繁(再任)

(4) 第4号議案 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業計画承認の件

議長は上記議案を上程し、平成21年度事業計画の概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(5) 第5号議案 平成22年度収支予算承認の件

議長は上記議案を上程し、平成22年度収支予算の概要を理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を訂正し承認可決した。

エコ・リサ 一泊研修見学会のご案内

詳細は同封のチラシをご覧ください。

お友達を誘って、
申込みはお早めに!

日時：平成22年9月15日(水)～16日(木)

集合：JR川越駅西口 9時集合 (時間厳守をお願いします)

参加費：会員 15,000 円、非会員 20,000 円 (男女別相部屋4～6名様一室利用)

3名一室利用の場合お一人様2,000円増し

2名一室利用の場合お一人様3,000円増し

バス代は、エコ・リサの予算で負担します。

ホテルでの夕食(飲み放題付き)朝食、及び2日間の昼食費を含みます。

(参加申し込みと同時にご入会くだされば、会員価格で参加できます。)

*募集人員：40名(大人限定)*申込み締め切り 8月10日(火)

(申込み多数の場合は会員優先とさせていただきます)

行程

9月15日

川越駅西口 9時 = 入間 IC = 圏央道・中央道 = 長坂 IC = 昼食(ご当地大人気「アフガンカレー」)
= ハケ岳倶楽部(ギャラリー・自然農園見学・ティタイム 12:30～14:15) = 北杜市・太陽光発電
実験センター(見学 14:30～16:30) = 石和温泉 17:30 頃

【宿泊】石和温泉 常盤ホテル 055-262-6111

9月16日

ホテル 8時30分 = 一の宮御坂 IC = 中央道 = 河口湖 IC = 山梨県環境科学研究所(見学 9:20～
12:10) = 富士山五合目(昼食と散策 13:00～15:00) = 富士スバルライン = 河口湖 IC = 中
央道・圏央道 = 入間 IC = 川越 17:30 頃

お申込先：読売旅行春日部営業所

電話 048-733-2381

担当：土屋・影山・鈴木

FAX 048-733-2398

FAXは24時間受付可能です

受付時間：平日 10:00～17:00 日曜祝日を除く

世界では生ごみコンポストがあたりまえ！ 焼却処理している私たち日本は、少数派！

JICA & エコ・リサ交流会 報告

2010・4・20(火) 13:00~16:45

ソニック 803 号室にて開催

海外からの研修生との交流に重点をおいた、これまででない刺激的な交流会になりました。



来日の研修員の方々

トルコ	20代	女性(環境森林省廃棄物管理局)
	20代	女性(イスタンブール市廃棄物管理課)
バヌアツ	40代	男性(ポートヴィラ市議会 公共事業ユニット道路係)
マレーシア	20代	女性(プトラジャヤ公共団体清掃管理部)
フィジー	20代	女性(環境省 廃棄物管理・汚染管理ユニット)
チュニジア	30代	女性(環境サスティナブル開発省廃棄物管理局)
マーシャル	40代	男性(RMI 環境保護庁固形廃棄物課)
ミャンマー	30代	男性(ネビドー国家開発委員会 汚染管理清掃部)
モロッコ	30代	女性(国土管理水環境庁カサブランカ環境局)
パレスチナ	30代	男性(ナーブルス地方自治省固形廃棄物管理局固形廃棄物協同審議会)
	40代	男性(トゥルカレム 地方自治省固形廃棄物管理協同審議会)

前半、エコ・リサ事務局から、エコ・リサの組織体制、毎年埼玉県と開催しているのエコ・リサ交流集会の様子などを説明。彩の国データバンク事業、資源循環委員会は地域での生ごみ堆肥化の活動、ダンボール堆肥など、グリーンコンシューマー委員会はマイバッグ運動、環境買い物ゲームなどの学校での学習会の様子などを紹介。マイバッグちゃんとの記念撮影の後、ごみを知らず委員会の埼玉県のごみの分析結果の説明をしました。

今回、後半は、質問と交流の時間をたっぷり取りました。

フィジーの女性から、「ダンボール堆肥について、自国にはダンボール・落ち葉・もみから燻炭の3つがないがどうすればよいか？」パレスチナの男性は、「生ごみは行政が電気を使用してコンポスト化し、堆肥を売却しているが、ダンボール堆肥は、カリ・チッソ・リンのバランスがとれた物か？」との質問。チュニジアでは、野菜・フルーツなどの食品残渣が68%を占め、水分が多いためドイツの調査機関から焼却に不向きとの結果だったため、コンポスト化しているとの意見など、トルコでは、環境学習をすすめているので、学校での環境学習はどのように開催しているのか？質問がありました。

エコ・リサ側も、意見交換の中で、各国、ごみに占める生ごみの割合や水分量が似ており、会場内で生ごみを燃やしている国が日本だけであることを知り、一同唖然としました。

(報告：大前万寿美)

ご案内

= 第 1 回 =

ごみ処理費用を削減するための学習会

8月5日(木)1:30~4:30
シーノ大宮 7階講座室2

参加希望の方はエコ・リサ
HP 問合せへお願いします。
FAX 申込 048-827-1268 まで



資料代 100 円
パソコンをお持ちの方は当日持参
して下さい。 無くて OK

私たちの市町村では、多くの税金を投入して、
生ごみなど焼却処分しています。

エコ・リサ総会の土淵氏の記念講演

“リサイクル貧乏は間違いです”

そこで

狭山市のデータを例にリサイクルする方が、
処理費用が安いとの結果を共有しました。

今回、埼玉県内のエコ・リサ会員の住む他の市町村
でも同様の結果となるのか、学習会を開いてそれぞれ
試算してみようと思います。

ぜひ、一緒に試算してみませんか。

参加ご希望の方は、市町村発行の『清掃行政の概要』を入手し、当日お持ち下さい。
環境省HP発表のデータと比較しながら、将来の理想的なごみ処理の在り方を
探っていきたいと思います。(資料代100円 できればパソコン持参 無くてOK)

エコ・リサ 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間) 個人会員 3,000 円
 団体会員 5,000 円
 賛助会員 10,000 円 (1口)
 協賛バナー登録 50,000 円 (年間)

* 振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571

加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル
連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが
通信欄に新規会員あるいは 会員
年度分と明記の上、お振り込みをお願い
いたします。(事務局)

エコ・リサ会員の方にエコ・リサ通信の今後の配信方法についてお願い

事務作業、省コストの点からmail配信への移行をすすめております。

メール配信希望の方は ecorisa-npo@fuyo-hin.com まで「エコ・リサ通信mail配信希望」として氏名・アドレスの連絡をお願いします。

編集後記

埼玉県の活動団体の紹介を増やそうと、エコ・リサホームページも改装中です。ぜひ、会員の皆様の地域での活動をお知らせください。情報をお待ちしています。